

## 第 4 章

# 年表編

年表

年（和暦・西暦）		仙台市水道局	
元号	和暦・西暦	月日	事 項
明治	元年（1868）		
	4年（1871）		
	22年（1889）		
	23年（1890）		
	24年（1891）	8.23	市会で上下水道のため市内用水路の調査を議決
	26年（1893）	3.-	仙台市街地の測量調査完了
		12.24	上下水道の設計を委嘱した内務省嘱託W.K.バルトン「仙台市衛生状況改良並びに水力供給中央局設置案」を報告
	27年（1894）		
	30年（1897）	10.29	市会で上下水道設計費（4,000円）を議決
		12.16	市は上下水道整備の設計のため、中島鋭治を顧問に委嘱、西尾虎太郎を上下水道設計主任に任命
	32年（1899）	1.19	上下水道工事設計完了
	33年（1900）		
	37年（1904）		
	42年（1909）		
	43年（1910）	5.16	市会で明治44年度より3ヵ年計画で水道布設を議決
	44年（1911）	6.13	水道工事計画変更（国庫補助確保困難のため明治45年度から3ヵ年計画）
	45年（1912）	5.29	仙台市給水条例可決
6.1		仙台市水道布設認可の申請書を内務大臣に提出	
6.3		仙台市水道給水条例認可の申請書を内務大臣に提出	
大正	元年（1912）	12.24	実施設計書提出を条件に水道布設認可（大倉川水源・計画1日最大18,490㎡）
	2年（1913）	3.23	市会で水道実施計画案を議決
		4.-	水道創設事業起工
		7.11	実施設計書の認可
		8.8	仙台市水道部設置規程を公布
	3年（1914）		
	7年（1918）		
	8年（1919）		
	9年（1920）		
	10年（1921）		
	11年（1922）	11.3	宮城県庁前において通水式を挙行
		12.-	一般家庭供給のための試験通水を開始
	12年（1923）	2.1	給水条例が施行され水道料金の徴収を開始（計量制と放任制の併用）
3.31		はじめて市内に給水を開始	
5.26		水道創設事業竣工式挙行	

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事 項	月日	事 項
			明治維新
		7.14	廃藩置県により、仙台藩は仙台県となる
		2.11	大日本帝国憲法発布
		4.1	市制施行、仙台市の誕生（人口86,352人、戸数16,806戸）
2.13	水道条例公布		
		8.1	日清戦争勃発（明治28.4.17終戦）
		8.-	下水道第一期工事に着手
		5.8	仙台市で第一期下水道工事完成
		12.-	市内に電話が開通する
		2.8	日露戦争勃発（明治38.9.5終戦）
		12.20	仙台瓦斯株式会社創立（昭和16年市営化）
3.29	水道条例改正（水道公営の原則を緩和）		
		7.30	明治から大正に改元
4.9	水道条例改正（私企業の認可の要件を限定）		
		7.28	第一次世界大戦勃発（大正7.11.1終戦）
		8.-	シベリア出兵で物価騰貴、米騒動が起こる
		3.2	南町大火で郵便局など707軒焼失
		8.-	仙台市街自動車（仙台市交通局の前身）創立
		10.1	第一回国勢調査、仙台市人口118,984人
4.9	水道条例改正（内務大臣の職権の一部を地方長官に委任）		

年表

年（西暦）		仙台市水道局	
元号	和暦・西暦	月日	事 項
大正	14年（1925）	4.1	水道料金集金制度を納付制度に改正
	15年（1926）		
昭和	元年（1926）		
	2年（1927）	1.2	寒波による水道管の凍結・破損（約3,000件）
		7.24	給水量増加による給水制限開始（9月解除）
		12.19	納付組合制の開始
	3年（1928）	7.11	給水量増加による給水制限開始（10.22解除）
	4年（1929）	3.30	水道料金集金制度に移行
	5年（1930）	4.1	機構改革により仙台市電気部及び水道部が合併し、電気水道事業部に再編
		5.26	原町方面への給水区域拡張認可
		7.2	給水量増加による給水制限開始（9.30解除）
		9.1	水道料金改定（料金10㎡ 60銭、放任制廃止）
	6年（1931）	5.29	第一次拡張事業認可（青下川水源・計画1日最大11,750㎡）
		8.11	荒巻、北根地区を給水区域に編入
		8.15	第一次拡張事業起工
	7年（1932）		
	8年（1933）	7.29	水道部守護神として、水分神社建立、地鎮祭挙行
		11.19	第一次拡張事業竣工式、通水式挙行
	9年（1934）	3.31	第一次拡張事業竣工
10年（1935）	8.8	仙台市水道誌刊行	
11年（1936）			
12年（1937）			
13年（1938）	1.10	西多賀地区を給水区域に編入	
15年（1940）			
16年（1941）			
17年（1942）	11.4	機構改革により事業部水道課となる	
18年（1943）	4.17	給水開始20周年記念式典挙行（於青下水源）	
20年（1945）			
21年（1946）	4.1	水道料金改定（料金10㎡ 1円80銭）	

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事 項	月日	事 項
		6.13	秋保電気軌道長町～秋保電化完成
		11.25	仙台市電一部区間開通
		12.25	大正から昭和に改元
		4.1	長町、原町、七郷村南小泉を仙台市に編入
		11.22	宮城電鉄（現仙石線）仙台～石巻全線開通
		1.16	仙台市役所新庁舎完成（第二代）
		9.17	仙台鉄道通町～中新田全線開通
		9.24	仙山線仙台～愛子開通
		2.1	仙台市立病院が東二番丁に開院
		4.1	七北田村荒巻、北根を仙台市に編入
		9.18	満州事変勃発
		10.1	西多賀村を仙台市に編入
		9.5	市の紋章制定
		4.1	八木山公園が仙台市に寄付
		2.5	日本職業野球連盟（現日本野球機構）が設立
		4.1	仙台初の動物園が評定河原に開園
		7.7	日中戦争勃発
		11.10	仙山トンネルが完成し仙山線が全線開通
1.11	厚生省発足（水道行政は厚生省の所管となり、同省衛生局の所掌となる）	5.2	仙台市制50周年記念式挙行
		9.27	日独伊3国同盟締結
		4.1	市ガス事業の営業開始
		9.15	中田村、六郷村、七郷村、岩切村、高砂村を仙台市に編入
		12.8	ハワイ真珠湾攻撃、太平洋戦争始まる
		8.21	仙台市営バス開業
		7.10	空襲で仙台市内中心部の被災戸数1万1,933戸、死者約1,064人 仙台城大手門など焼失
		8.15	ポツダム宣言受諾
3.3	物価統制令が水道料金にも適用	11.3	日本国憲法公布



年表

年（西暦）		仙台市水道局	
元号	和暦・西暦	月日	事 項
昭和	21年（1946）	7.18	機構改革により水道部となる
		11.25	水道料金改定（料金10㎡8円）
	22年（1947）		
23年（1948）		4.23	給水開始25周年記念式典挙行（於荒巻配水所）
		6.-	水道料金改定（料金10㎡20円）
		7.26	第二次拡張事業認可（名取川水源・計画1日最大20,000㎡）
		7.26	福田町水道布設工事認可
		9.3	福田町水道布設工事着工
		10.1	第二次拡張事業起工
24年（1949）		10.29	水道料金改定（料金10㎡40円）
		3.1	水道料金改定（料金10㎡50円）
		3.30	福田町水道布設工事竣工
		4.30	福田町水道布設工事通水式挙行
		12.16	第二次拡張事業、富田浄水場一部通水（第一次）（1日最大5,000㎡）
25年（1950）		4.-	水道料金改定（料金10㎡65円）
		7.25	第二次拡張事業、富田浄水場一部通水（第二次）（1日最大10,000㎡）
26年（1951）		3.28	第二次拡張事業、富田浄水場一部通水（第三次）（1日最大15,000㎡）
		4.22	二日町大火で水道部倉庫類焼（民家94戸全焼）
27年（1952）		4.-	水道料金改定（料金10㎡75円）
		10.1	地方公営企業法施行に伴い水道ガス事業局水道部に再編
28年（1953）		9.17	【旧秋保町】湯元地区簡易水道事業創設認可（計画給水量150㎡）
29年（1954）		4.1	水道料金改定（料金10㎡100円）
		7.-	七郷六丁目簡易水道設置
		-	【旧泉市】根白石地区簡易水道設置
30年（1955）		3.31	第二次拡張事業竣工、富田浄水場全面通水（計一日最大20,000㎡）
		4.9	第二次拡張事業竣工式挙行
		5.25	原町地区に修繕連絡所開設
		8.4	市内水不足が深刻化し、給水車出動
31年（1956）		4.16	機構改革により水道局となる
		7.23	臨時応急水源拡張工事認可（若林水源ほか4か所のさく井による1日最大10,000㎡取水の計画）
		8.-	今市簡易水道、宿在家簡易水道設置
32年（1957）		12.-	荒井四ツ谷簡易水道設置
33年（1958）		3.6	第三次拡張事業（大倉川水源拡張事業）認可（大倉ダム水源・計画1日最大90,000㎡）
		4.-	第三次拡張事業起工
		5.30	水不足のため時間給水、対策本部設置

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事 項	月日	事 項
12.26	水道条例改正（内務省の廃止により内務大臣の職権を主務大臣と改める）	3.11	公募により新通名「青葉通」「広瀬通」など決定
		4.5	地方自治法公布により、市町村長公選が行われる
		5.3	日本国憲法施行
		5.5	仙台市電全線開通
		9.16	関東・東北地方で台風第21号により被害発生
		5.2	本田光太郎ら3氏が初の仙台市名誉市民に
-	厚生省「飲料水検査指針」を制定	5.3	宮城県宮野球場（現宮城球場）開設
		8.10	宮城県宮城野原陸上競技場（現仙台市陸上競技場）開設
8.1	地方公営企業法公布	6.10	仙台市レジャーセンターが錦町公園に開設
8.15	地方自治法に基づき水道条例改正	2.1	NHKによる白黒テレビの本放送を開始
3.-	ダクタイル鉄管国内生産開始	7.21	仙台市野草園が大年寺山に開園
		2.1	仙台市天文台が西公園に開台
3.16	水道協会が日本水道協会と改称	4.1	生出村を仙台市に編入
6.15	水道法公布（12.14施行）	3.9	リバサイド市（アメリカ）と姉妹都市提携
		4.24	仙台飛行場（現仙台空港）開港
7.16	水質基準に関する省令公布	12.20	仙台市人口が40万人を超える
12.25	公共用水域の水質の保全に関する法律公布		

年表

年（西暦）		仙台市水道局	
元号	和暦	月日	事 項
昭和	33年（1958）	10.-	若林水源給水開始
		10.15	大倉ダム起工式開催
11.24		大倉川水源拡張事業における仙台市と塩竈市の共同導水路建設についての協定調印	
34年（1959）	3.1	検針を隔月検針に切替え	
	4.7	第三次拡張事業起工式挙行	
	4.27	若林水源竣工式挙行	
	11.17	越路地内でφ400mm送水管破裂	
	-	【旧泉市】黒松団地簡易水道設置（県住宅供給公社営）	
35年（1960）	1.29	寒波による水道管の凍結・破損（1,551件）	
	3.25	第三次拡張事業変更認可（計画通りの浄水場用地が取得できず、沈でん池方式・ろ過池数変更）	
	8.7	【旧宮城町】作並地区簡易水道事業創設認可（計画給水量310㎡）	
	8.30	【旧宮城町】定義地区簡易水道事業創設認可（計画給水量60㎡）	
36年（1961）	4.1	簡易給水条例制定（七郷六丁目、宿在家、荒井四ツ谷簡易水道市営に移行）	
	4.-	大倉ダム竣工	
	8.3	第三次拡張事業、国見浄水場一部通水（第一次）（1日最大20,000㎡）	
	8.25	仙台塩竈共同導水路等竣工式挙行（仙台市・塩竈市共催）	
37年（1962）	3.26	第三次拡張事業の計画一部変更（事業費30億5,000万円）が市議会で議決	
	4.1	配水管整備5ヵ年計画に着手、今市簡易水道市営に移行	
	7.11	富田浄水場に集中豪雨で濁水流入（2千戸断水、1万戸水不足）	
	8.1	水道料金改定（平均66%値上げ）	
	8.3	第三次拡張事業、国見浄水場一部通水（第二次）（計1日最大40,000㎡）	
	8.24	燕沢、小松島さく井水源を国見浄水場系統に切替えて廃止	
	-	【旧泉市】旭ヶ丘簡易水道設置（民営）	
	-	【旧泉市】南光台簡易水道設置（民営）	
38年（1963）	1.18	仙台市と塩竈市との大倉川水源共同導水路の維持管理協定を締結	
	6.8	給水開始40周年記念式典挙行	
	8.22	青葉神社下φ900mm配水管破裂（1万1,000戸断水）	
	8.28	【旧秋保町】馬場・長袋地区簡易水道事業創設認可（計画給水量345㎡）	
	8.29	大年寺山配水所からのφ400mm配水管破裂（浸水家屋50戸）	
39年（1964）	-	第三次拡張事業、国見浄水場一部通水（第三次）（計1日最大50,000㎡）	
	3.31	若林さく井水源を国見浄水場系統に切替えて廃止	
	5.1	今市簡易水道を上水道に編入	
	5.31	福田町水道を国見浄水場系統に切替えて廃止	
	6.1	宿在家簡易水道を上水道に編入	
	-	第三次拡張事業、国見浄水場一部通水（第四次）（計1日最大70,000㎡）	
40年（1965）	3.3	富田浄水場の取水方法を伏流水から表流水に変更認可	
	3.31	第三次拡張事業竣工、国見浄水場全面通水（1日最大90,000㎡）	
	5.8	第三次拡張事業竣工式挙行	
	-	【旧泉市】七北田地区簡易水道設置（公営）	

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事 項	月日	事 項
		6.10	仙台市制70周年
-	全国水道普及率が50%を超える	5.24	チリ地震津波で北海道と三陸などに被害
		9.10	カラーテレビ本放送開始
		11.1	仙山線仙台～山形の全線電化完成
11.13	水資源開発公団法公布	5.7	秋保電鉄廃止
		10.1	仙台市博物館開館
		3.16	仙台市が全国初の健康都市宣言
		10.27	仙台市民図書館開館
		11.30	長町青果市場閉場
-	全国的渇水	3.3	仙台湾地区が新産業都市に指定
		8.18	宮城県スポーツセンター完成
		10.1	東海道新幹線開業
		10.10	東京オリンピック開幕
-	「公害審議会」に水道の広域化と経営方式を諮問	10.15	仙台市八木山動物公園開園
		11.8	現仙台市役所庁舎が完成（第三代）

年表

年（西暦）		仙台市水道局	
元号	和暦・西暦	月日	事項
昭和	40年（1965）	—	【旧泉市】鹿島地区簡易水道設置（公営）
	41年（1966）	1.21	寒波による水道管の凍結・破損（6日間で3,300件）
		3.12	第四次拡張事業認可（釜房ダム水源・計画1日最大200,000m <sup>3</sup> 、事業費90億2,600万円）
		4.－	第四次拡張事業起工
		5.1	七郷六丁目簡易水道を上水道に編入
		7.11	水道料金値上げ問題で公聴会開催（市議会特別委員会）
		7.13	市議会水道料金改定案（40.8%改定）否決
		8.11	臨時市議会水道料金改定案（34.2%値上げ）可決
		42年（1967）	1.16
	1.17		寒波による水道管の凍結・破損
	2.21		第四次拡張事業起工式挙行
	4.12		大倉ダムに係るダム使用権設定（最大取水量日量90,000m <sup>3</sup> 相当）
	6.1		水道料金徴収に口座振替制導入
	6.1		水道料金を隔月徴収に切替え
	8.14		【旧秋保町】野尻地区簡易水道事業創設認可（計画給水量90m <sup>3</sup> ）
	9.18		仙台市臨時水道料金制度調査会発足
	43年（1968）	4.1	収納団体委託制の開始
		10.8	【旧秋保町】馬場・長袋地区簡易水道事業変更認可（給水区域拡張等）
11.20		原町修繕連絡所廃止、南小泉修繕連絡所開設	
11.30		【旧宮城町】作並簡易水道事業変更認可（計画給水量2,000m <sup>3</sup> への増）	
－		【旧泉市】東黒松簡易水道設置（公営）	
－		【旧泉市】向陽台簡易水道設置（民営）	
44年（1969）	－	【旧泉市】松森団地専用水道設置（民営）	
	3.31	【旧泉市】水道事業（将監団地水道）創設認可、起工（深井戸水源、1日最大5,400m <sup>3</sup> 、事業費2億8,000万円）	
	5.18	異常干ばつのため名取川取水減水、向山地区断水	
	6.29	大倉ダム～国見浄水場間のφ1200mm共同導水管破裂（仙台市約8万8,000戸、塩竈市約1万4,000戸断水）（7.1解消）	
	10.15	広報紙「仙台の水道」創刊	
	11.17	水道局本庁舎が二日町に移転	
	－	【旧泉市】泉ニュータウン簡易水道設置（公営）	
45年（1970）	4.17	名取市、多賀城町、七ヶ浜町、利府町、泉町の一市四町と分水契約を締結（宮城町は昭和46.10.27締結）	
	6.22	釜房ダム竣工式	
	7.1	第四次拡張事業、茂庭浄水場一部通水（第一次）（1日最大33,000m <sup>3</sup> ）	
	8.27	仙台市臨時料金制度調査会が水道料金体系に関し答申	
	9.22	市議会、第四次拡張事業費の変更を議決（事業費149億8,500万円）	
	11.9	富田浄水場系φ500mm送水管破裂	
	11.20	仙台市臨時料金制度調査会が水道加入金の算定基準について答申	

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事項	月日	事項
7.5	地方公営企業法一部改正、管理者の権限の強化	3.－	日本の総人口が1億人を突破
－	上水道高料金対策借換債制度創設	5.1	仙台市科学館開館
－	公共用水域水質環境基準制定 水質汚濁防止法公布	3.15	日本万国博覧会が大阪で開催
－		4.－	仙台バイパス全線開通
－		4.15	徳島市と観光姉妹都市提携
－		9.22	全国で初めて公害市民憲章制定
－		10.10	東一番丁で歩行者天国開始
－		1.18	竹田市（大分県）、中野市（長野県）と音楽姉妹都市提携
－		5.－	仙台市人口が50万人を超える
－		9.6	レンヌ市（フランス）と姉妹都市提携



年表

年（西暦）		仙台市水道局		
元号	和暦西暦	月日	事 項	
昭和	45年（1970）	12.14	【旧泉市】水道事業第一次拡張事業認可、起工（深井戸水源・仙台市分水、1日最大27,000m <sup>3</sup> 、事業費10億7,500万円）	
		12.21	水道加入金制度創設（昭和46.6.1適用）	
		—	【旧泉市】天ヶ沢地区簡易水道設置（公営）	
			—	【旧泉市】泉ヶ丘ニュータウン簡易水道設置（民営）
	46年（1971）	1.13	【旧宮城町】向田地区簡易水道事業創設認可（計画給水量150m <sup>3</sup> ）	
		4.1	簡易水道事業給水条例廃止（荒井四ツ谷簡易水道を上水道に編入）	
		4.1	収納私人委託制の開始	
		4.14	釜房ダムに係るダム使用権設定（茂庭分・最大取水量日量200,000m <sup>3</sup> ）	
		7.9	富田浄水場系φ500mm送水管破裂（八木山、向山地区断水500戸）	
		7.－	第四次拡張事業、茂庭浄水場一部通水（第二次）（1日最大50,000m <sup>3</sup> ）	
9.14		仙塩地区水道対策協議会発足		
—		【旧泉市】七北田地区、向陽台、旭ヶ丘、泉ニュータウン、東黒松簡易水道を水道に統合		
—		【旧泉市】水道創設事業竣工（総事業費1億7,891万円）		
47年（1972）		2.11	小松島小学校前φ900mm配水管破裂（鶴ヶ谷、小松島地区9,500戸断水）	
	3.31	【旧泉市】水道事業第二次拡張事業認可（富谷町東向陽台地区編入）		
	4.1	使用水量の委託計量制を採用		
	5.1	水道料金改定（料金体系を用途別から口径別に変更）		
	5.8	第四次拡張事業、茂庭浄水場一部通水（第三次）（1日最大100,000m <sup>3</sup> ）		
	6.1	富田浄水場休止（浄水場増補事業による改良工事）		
	8.24	【旧宮城町】作並簡易水道事業変更認可（給水区域拡張等）		
	11.1	浄水場増補事業認可（中原浄水場・富田浄水場の浄水処理方式変更）		
	—	【旧泉市】黒松団地簡易水道を水道に統合		
	48年（1973）	3.14	第四次拡張事業費179億2,500万円に変更	
3.27		【旧宮城町】第三松ヶ丘簡易水道事業創設認可（計画給水量123m <sup>3</sup> ）		
4.27		第四次拡張事業、茂庭浄水場一部通水（第四次）（1日最大120,000m <sup>3</sup> ）		
7.17		異常渇水により臨時給水対策本部設置		
8.1		【旧秋保町】湯元地区簡易水道事業変更認可（計画給水量5,220m <sup>3</sup> への増）		
8.11		大倉ダム第一次取水制限（14％）実施（国見系）給水制限（10％）（9.25解除）		
8.21		大倉ダム第二次取水制限（40％）実施（国見系）給水制限（25％）		
8.27		釜房ダムの取水制限（茂庭系）給水制限（20％）（9.12解除）		
11.19		給水開始50周年記念式典挙行、仙台市水道50年史刊行		
12.28		【旧宮城町】郷六地区簡易水道事業創設認可（計画給水量300m <sup>3</sup> ）		
49年（1974）	3.31	【旧泉市】水道事業第三次拡張事業認可、起工（七北田ダム水源、1日最大55,000m <sup>3</sup> 、事業費67億4,000万円）		
	4.1	【旧秋保町】滝原地区簡易水道事業創設認可（計画給水量130m <sup>3</sup> ）		
	6.6	【旧宮城町】吉成地区水道事業創設認可（計画給水量2,500m <sup>3</sup> ）		
	6.10	第四次拡張事業、茂庭浄水場一部通水（第五次）（1日最大143,000m <sup>3</sup> ）		
	8.1	水道加入金改定（平均改定率88.6％）		

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事 項	月日	事 項
7.1	環境庁発足	7.17	仙台港開港
		9.1	仙台市花「ハギ」、市木「ケヤキ」などを決定
		2.3	札幌冬季オリンピック開幕
		5.15	沖縄県が27年ぶりに本土復帰（沖縄返還）
		9.29	田中首相が訪中し日中国交正常化の共同声明
10.17	水源地域対策特別措置法公布	2.14	円が変動相場制へ移行
		10.6	第一次石油危機
		11.1	仙台市中央卸売市場開設
4.15	厚生省に水道環境部発足		

年表

年（西暦）		仙台市水道局		
元号	和暦・西暦	月日	事 項	
昭和	49年（1974）	9.24	青下水源管理所職員2名、国見系苦地取水地で大雨に伴う取水調整作業中殉職	
		12.4	仙台市水道問題調査会設置	
		12.27	【旧宮城町】向郷六地区簡易水道事業創設認可（計画給水量500㎡）	
		—	—	【旧泉市】鹿島地区簡易水道を水道に統合
	50年（1975）	3.31	【旧泉市】水道事業第一次拡張事業竣工（総事業費9億8,000万円）	
		4.1	第四次拡張事業、茂庭浄水場全面通水（1日最大200,000㎡）	
		4.1	【旧宮城町】新川別荘簡易水道事業創設認可（計画給水量105㎡）	
		4.7	仙台市水道問題調査会答申	
		4.21	中原浄水場改良工事着工（浄水場増補事業による改良工事）	
		6.30	水道料金等改定に関する公聴会開催（市議会特別委員会）	
		8.1	水道料金改定（改定率38.7%）、開発負担金制度創設	
		10.7	愛宕橋付近φ400mm配水管破裂	
		11.5	【旧宮城町】定義地区簡易水道事業変更認可（取水地点変更等）	
		12.1	七ヶ宿ダム関連広域水道問題調査会設置	
		12.9	北赤石地区給水開始	
—		—	【旧泉市】泉ヶ丘ニュータウン簡易水道を水道に統合	
51年（1976）	1.－	寒波による水道管の凍結・破損（4,173件）		
	3.24	折立地区（団地を除く）給水開始		
	4.11	【旧宮城町】小豆田地区簡易水道事業創設認可（計画給水量67.5㎡）		
	6.16	【旧宮城町】向田地区簡易水道事業変更認可（計画給水量525㎡への増等）		
	6.25	仙南・仙塩広域水道用水供給事業実施に関する覚書（財政負担）を締結		
	6.29	【旧秋保町】馬場・長袋地区簡易水道事業変更認可（給水区域拡張）		
	8.20	仙南・仙塩広域水道用水供給事業実施に関する協定（供給方式の基本事項）締結		
	8.23	水道展開催（於市役所1階ロビー）（8.28終了）		
	9.4	【旧秋保町】野尻地区簡易水道事業変更認可（取水地点変更）		
	9.14	宮城町と「仙台中原浄水場水道施設の使用等に関する基本協定書」調印		
	11.4	【旧宮城町】小豆田地区、第三松ヶ丘地区簡易水道事業を廃止		
	11.5	国見浄水場の給水能力増加に伴う水利使用変更許可		
	11.5	【旧宮城町】中原浄水場への浄水処理委託に伴う水利使用許可		
	11.5	【旧宮城町】愛子地区水道事業創設認可（計画1日最大4,500㎡）		
	11.15	仙台市節水問題審議会設置		
	11.22	【旧宮城町】新川住宅地簡易水道事業創設認可（計画1日最大300㎡）		
	12.30	寒波対策本部設置（昭和52.2.22解散）受付件数16,850件		
	52年（1977）	2.14	大倉ダムに係るダム使用権変更許可（国見浄水場分）（最大取水量日量100,000㎡）	
3.－		宮城県が広域的水道整備計画書（南部水道広域圏）を策定		
3.25		第四次拡張事業費207億7,000万円に変更		
3.28		仙台市節水問題審議会「節水問題推進の方策に関する提言」を答申		
4.1		水道料金改定（改定率18.8%）		
4.1		中原浄水場（宮城町分含む1日最大35,240㎡）落成記念式挙行		

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事 項	月日	事 項
		4.1	東北自動車道岩槻～仙台南インターチェンジ間開通
		9.9	仙台市民ギャラリー開館
		11.3	宇和島市（愛媛県）と歴史姉妹都市提携
		3.31	仙台市電50年間の歴史に幕
6.23	水道法一部改正（広域的水道整備計画の策定、簡易専用水道の管理等を定める）	12.15	東北新幹線開通に備え、現仙台駅が開業（第六代）



年表

年（西暦）		仙台市水道局	
元号	和暦・西暦	月日	事 項
昭和	52年（1977）	4.30	【旧宮城町】みやぎ台水道事業創設認可（計画1日最大2,400m <sup>3</sup> ）
		5.28	【旧宮城町】赤坂地区簡易水道事業創設認可（計画1日最大194m <sup>3</sup> ）
		10.21	第四次拡張事業竣工式挙行
		11.5	【旧宮城町】大倉ダムに係るダム使用権設定（最大取水量日量5,000m <sup>3</sup> ） （大倉ダム大倉川上流灌漑・農業用水の一部転用）
		—	【旧泉市】松森団地専用水道を水道に統合
	53年（1978）	3.—	第四次拡張事業竣工
		4.1	給与計算の電算移行
		5.15	第五次拡張事業認可（広域水道受水・計画1日最大279,300m <sup>3</sup> 、国見浄水場増強等、 事業費390億円、工期 昭和53年度～平成元年度）
		5.—	第五次拡張事業起工
		6.6	【旧泉市】七北田ダム起工式
6.12		宮城県沖地震発生、震害対策本部設置（7.14解散）	
6.26		宮城県沖地震に伴う水道料金の減免（全壊世帯に対し基本料金1か月分減免等）を決定	
7.31		宮城県湯水対策連絡会設置（8.21解散）	
9.20		【旧宮城町】みやぎ台水道事業変更認可（計画1日最大3,000m <sup>3</sup> への増等）	
10.25		第47回日本水道協会全国総会開催（於県スポーツセンター）	
54年（1979）	1.22	渇水対策本部設置（第一次給水制限10%）（旧東北地方建設局）（4.16解散）	
	2.13	【旧泉市・宮城町】泉市から宮城町への分水に関する覚書締結	
	2.27	給水制限を4%に緩和	
	5.24	【旧宮城町】向田地区、郷六地区、向郷六地区、赤坂地区簡易水道事業、 愛子地区、みやぎ台水道事業を統合するための廃止許可	
	5.25	【旧宮城町】宮城町水道事業創設認可（計画1日最大12,230m <sup>3</sup> ）	
	5.26	中原補充貯水池竣工式（有効容量貯水量330,000m <sup>3</sup> ）挙行	
	6.1	水道展開催（於ジャスコ仙台店）（6.7終了）	
	8.9	【旧泉市】水道事業第三次拡張事業変更認可 （給水区域拡張、広域水道受水・計画1日最大26,400m <sup>3</sup> 、総事業費235億円）	
	10.29	第五次拡張事業起工式挙行	
	11.9	財団法人仙台市水道サービス公社設立	
12.26	仙台市、川崎町間の水利権と受水量との振替覚書を締結（3,900m <sup>3</sup> ）		
55年（1980）	1.31	仙南・仙塩広域水道用水供給事業実施に関する覚書等の変更に関する覚書を締結 （川崎町受水量3,900m <sup>3</sup> を仙台市に振り替え計283,200m <sup>3</sup> ）	
	1.31	七ヶ宿ダム水源地域整備事業の経費負担に関する協定締結	
	4.1	【旧泉市】南光台簡易水道を水道に統合	
	7.12	富田浄水場（1日最大44,000m <sup>3</sup> ）落成記念式挙行	
	9.30	【旧秋保町】馬場・長袋地区簡易水道事業変更認可（給水区域拡張）	
	—	【旧泉市】天ヶ沢地区、根白石地区簡易水道を水道に統合	
56年（1981）	2.16	広域水道に関する送配水管等の共同工事の施工に関する協定調印	
	4.1	水道料金改定（改定率28.1%）	

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事 項	月日	事 項
10.—	第12回水道国際会議が京都で開催	6.12	M7.4の宮城県沖地震発生
		1.17	第二次石油危機
		11.3	仙台市歴史民俗資料館開館
		11.30	瑞鳳殿再建
		7.1	仙台市立病院が清水小路に移転
		10.27	長春市（中国）と友好都市提携
3.25	トリハロメタン対策通達	4.1	仙台市戦災復興記念館開館
		5.7	仙台市地下鉄南北線工事着工

年表

年（西暦）		仙台市水道局	
元号	和暦・西暦	月日	事 項
昭和	56年（1981）	4.1	水道加入金改定（改定率22.9%）、開発負担金改定（改定率28.6%）
		4.1	国見浄水場10,000㎡の給水能力増強（昭和51.11.5水利使用変更許可）
		4.20	【旧宮城町】宮城町水道事業給水開始
		10.7	【旧宮城町】作並地区簡易水道事業変更認可（浄水方法変更）
	57年（1982）	2.15	名取川頭首工の建設事業の実施に関する協定の締結
		5.1	利府町と分水契約解約による分水中止
		5.24	水質検査センター開所式挙行
		10.22	給水開始60周年記念水道展開催（於ダイエー仙台店）（10.26終了）
		12.1	【旧宮城町】熊ヶ根地区簡易水道水源として水利使用許可（大倉ダム下倉灌漑・農業用水の一部転用による）
	58年（1983）	3.18	【旧泉市】水道事業第四次拡張事業認可取得、着工（宮床ダム水源・計画1日最大10,000㎡、事業費70億円）
		4.1	【旧泉市】福岡浄水場・取水場完成、七北田川暫定取水による一部通水開始
		5.26	日本海中部地震被災地へ応援部隊派遣
7.11		【旧宮城町】熊ヶ根地区簡易水道事業創設認可（計画一日最大1,185㎡）	
10.1		【旧泉市】七北田ダム試験湛水開始	
10.ー		水道使用状況実態調査実施（～11月）	
11.1		七ヶ宿ダム起工式	
11.4		【旧宮城町】宮城町水道事業変更認可（給水区域拡張）	
59年（1984）	1.19	第一次寒波 寒波対策本部設置（1.30解散）	
	2.8	第二次寒波 寒波対策本部設置（2.23解散） 第一次・第二次合わせて修繕件数約24,000件	
	3.15	第五次拡張事業計画一部変更（事業費450億円、工期平成10年度迄）	
	9.1	【旧宮城町】宮城町水道事業変更認可（吉成地区水道事業の統合、給水区域拡張、広域水道受水・計画一日最大8,000㎡（最終22,300㎡））	
	10.1	局報創刊	
	10.25	【旧泉市】七北田ダム竣工式	
	10.30	釜房ダムに係るダム使用権設定（富田分・最大取水量日量24,000㎡）（名取川左岸木流堀農業用水の一部転用による）	
	12.28	名取川水利権新たに取得（富田浄水場24,000㎡の給水能力増加）	
60年（1985）	1.4	営業関係電算オンライン開始	
	2.25	【旧泉市・宮城町】泉市から宮城町への分水契約締結（4.1分水開始）	
	3.29	【旧宮城町】新川地区簡易水道事業創設認可（新川別荘、新川住宅地簡易水道の統合、新たに新川地区を給水区域に編入、計画給水量148㎡）	
	4.1	【旧泉市】七北田ダム水源供給開始により福岡浄水場全面通水（計1日最大55,000㎡）	
	5.1	組織変更 1室4部16課46係	
	5.27	青下水源地・茂庭浄水場が厚生省「水道百選」に選定	
	7.4	【旧泉市】泉市工業用水道事業届出（8.30施設基準適合通知）	
	8.23	濁水対策連絡会議（事務局浄水管理課）	
	8.24	旧東北地方建設局 濁水対策本部設置（9.6解散）	

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事 項	月日	事 項
		5.8	白老町（北海道）と歴史姉妹都市提携
		8.4	仙台駅前にペDESTリアンデッキ完成
4-12.25	自治省が高料金水道特別債を制度化 環境省がチッ素、リン環境基準制定	6.23	東北新幹線大宮駅～盛岡駅間開通
8.10	環境庁が地下水汚染実態調査結果によるトリクロロエチレン等汚染公表	5.26	M7.7の日本海中部地震発生
6.16	厚生省が「おいしい水研究会」設置	9.1	仙台市体育館開館
		3.14	東北新幹線上野駅乗入れ
		4.27	伊達政宗公没後350年祭青葉まつり開催（～6.2）

年表

年（西暦）		仙台市水道局	
元号	和暦・西暦	月日	事 項
昭和	60年（1985）	11.10	水道使用者の意識調査実施（11.20終了）
	61年（1986）	3.31	【旧泉市】水道事業第三次拡張事業竣工（総事業費223億1,600万円）
		4.1	水道料金の集金制廃止
		4.1	水道局職員の厚生省への派遣開始
		5.1	【旧泉市】工業用水道事業一部給水開始
		6.2	「絵で見る水道コーナー」（於茂庭浄水場）開設
		8.20	仙南・仙塩広域水道受水団体連絡会結成
	62年（1987）	3.26	財団法人水道技術振興センター設置
		6.6	近代水道100周年・仙台市水道給水開始65周年記念文化講演会開催（講師 橋田壽賀子氏）
		11.1	宮城町と合併、水道事業及び簡易水道事業（作並、新川、定義、熊ヶ根（建設中））を引き継ぐ — 広報紙「仙台の水道H <sub>2</sub> O」配布開始
	63年（1988）	2.29	第五次拡張事業計画認可一部変更（宮城町合併に伴う統合認可）
		3.1	泉市と合併、水道事業及び工業用水道事業を引き継ぐ
		3.1	秋保町と合併、簡易水道事業（湯元、馬場・長袋、滝原、野尻）を引き継ぐ
3.31		非常用飲料水貯水槽（100m <sup>3</sup> ）を初めて設置（扇町一丁目公園）	
5.12		熊ヶ根簡易水道事業給水開始	
平成	元年（1989）	2.8	定義地区簡易水道事業変更認可（計画給水量296m <sup>3</sup> への増等）
		4.1	水道料金等に消費税を転嫁（税率3%）
		7.29	グリーンフェアせんだいに「水の広場」出展（10.16終了）
2年（1990）	2.1	給水装置工事資金融資あっせん制度開始	
	3.9	熊ヶ根地区簡易水道事業変更認可（取水地点変更等）	
	3.20	水道局庁舎落成式挙行（於南大野田）	
	3.31	第五次拡張事業計画認可一部変更（泉市合併に伴う統合認可、秋保湯元簡易水道の統合認可）	
	4.1	水道局本庁舎が南大野田に移転	
	4.1	仙南・仙塩広域水道用水供給事業より受水開始	
	4.1	組織変更 5部22課4所63係	
	4.1	湯元地区簡易水道事業を水道事業に編入	
	4.17	滝原地区簡易水道事業変更認可（給水区域拡張等）	
	5.1	水道料金改定（改定率18.6%）	
	5.1	水道加入金改定（改定率20.8%）、開発負担金改定（改定率25.9%）	
3年（1991）	5.1	12大都市水道局災害相互援助に関する覚書（現19大都市水道局災害相互応援に関する覚書）締結	
	10.22	七ヶ宿ダム竣工式	

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事 項	月日	事 項
12.26	水道法一部改正（簡易専用水道に係る知事権限の保健所設置首長への委任）	3.1	仙台市博物館新築開館
		12.12	第1回SENDAI光のページェント開催
9.4	水道法一部改正（水道施設の整備にNTT株式の売却収入による無利子貸付金を導入）	1.4	NHK大河ドラマ「独眼竜政宗」が放送開始
		3.20	仙台市婦人文化センター（現エル・パーク仙台）開館
		4.1	国鉄が分割・民営化されてJR発足
		7.15	仙台市地下鉄南北線開業
		7.18	'87未来の東北博覧会開催（～9.28）
		11.1	宮城町が仙台市と合併
		3.1	泉市、秋保町が仙台市と合併
2.1	厚生省が水道法制定100周年記念式典を開催	1.7	昭和から平成に改元
		4.1	消費税導入（税率3%）
		4.1	政令指定都市としてスタート（人口896,238人）
		4.1	仙台市制100周年
		7.29	'89グリーンフェアせんだい開催（～10.16）
		11.9	ベルリンの壁崩壊
7.1		4.6	初の国際定期便仙台～ソウル線就航
		7.1	宮城インターハイ開幕
		9.27	現仙台市科学館開館
6.1	厚生省がふれっしゅ水道計画を策定	3.17	第1回仙台ハーフマラソン大会開催
		6.20	東北新幹線東京駅乗入れ
		9.1	仙台国際センター開館



年表

年（西暦）		仙台市水道局	
元号	和暦・西暦	月日	事項
平成	3年（1991）		
	4年（1992）	2.17	工業用水道事業変更届の施設基準適合通知
		3.19	仙南・仙塩広域水道の緊急時における受水市町相互応援給水に関する協定締結
		3.30	仙台市水道事業基本計画策定（平成4年度～平成12年度）
		4.1	3階建て建築物直結給水開始
	5年（1993）	3.11	富谷町（現富谷市）と災害時相互応援給水に関する協定
		4.1	組織変更 4部20課4所58係
		4.1	工業用水道料金改定（改定率16.0%）
		5.30	給水開始70周年記念フェア開催（於市役所前市民広場）
		8.6	水道記念館開館
		9.1	定義地区、熊ヶ根地区簡易水道事業を廃止し、大倉地区簡易水道事業認可（計画給水人口 2,150人、一日最大給水量 1,450m <sup>3</sup> ）
		9.1	野尻地区、滝原地区、馬場・長袋地区、作並地区、新川地区簡易水道事業を廃止し、秋保・作並地区簡易水道事業認可（計画給水人口 4,400人、一日最大給水量 6,090m <sup>3</sup> ）
		10.26	青葉区宮町郵便局前φ400mm配水管破裂（約5,000戸断水）
		11.1	写真集「仙台市水道70周年のあゆみ」発行
	6年（1994）	3.26	湯元浄水場休止
		3.31	仙台市工業用水道事業廃止（宮城県に事業譲渡）
		4.1	仙南・仙塩広域水道用水供給料金改定（増額改定）
		5.1	水道料金改定（改定率27.7%）、水道加入金改定（改定率29.0%）
		5.17	第45回全国水道研究発表会開催（於仙台国際センター）（5.19終了）
		7.27	渇水対策連絡会を設置（事務局施設課 9.13解散）
		7.28	旧東北地方建設局 渇水対策本部設置（9.20解散）
		7.28	宮城県 渇水対策連絡会議設置（9.13解散）
	7年（1995）	1.18	兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）に伴う給水応援派遣（神戸市～第七次 3.11終了）
		1.23	兵庫県南部地震に伴う復旧応援派遣（西宮市・宝塚市～第三次 2.9終了）
	8年（1996）		
	9年（1997）	4.1	消費税率の変更等に伴う水道料金等の改定（税率3%→5%）
		12.24	釜房ダム水利権の川崎町への振替に係る水利使用変更許可（△3,900m <sup>3</sup> ）
	10年（1998）	3.23	宮床ダム竣工式
		3.26	秋保・作並地区簡易水道事業変更認可（給水区域の拡張等）
		4.1	水道料金改定（改定率13.6%）、水道加入金改定（改定率12.9%）
		4.1	水道料金の非課税・生活保護世帯への減免開始
		4.1	釜房ダムに係るダム使用权変更許可（茂庭分・最大取水量日量196,100m <sup>3</sup> ）

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事項	月日	事項
		9.15	第1回定禅寺ストリートジャズフェスティバル開催
12.21	厚生省が水道法（昭和32年法律第177号）第4条第2項の規定に基づき、水質基準に関する省令を公布	7.15	仙台市地下鉄南北線泉中央駅まで延伸
		5.15	日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）開幕
3.4	水道水源保全二法（水道水源特別措置法・水道原水保全事業法）公布	11.1	プロサッカークラブチーム「ブランメル仙台」（現ベガルタ仙台）発足
		1.17	M7.3の兵庫県南部地震（阪神・淡路大震災）発生
		8.6	仙台七夕まつり戦後50回目の開催
6.26	水道法一部改正（指定給水装置工事事業者、指定試験機関）	11.2	地底の森ミュージアム開館
12.20	水道法施行規則一部改正（給水装置工事主任技術者資格関係）		
3.19	給水装置の構造及び材質基準に関する省令を公布	4.1	消費税率が3%から5%に引き上げ
		6.1	仙台スタジアム開設
		7.19	国際ゆめ交流博覧会開催
		8.29	ダラス市（アメリカ）と国際友好都市提携
		2.7	長野冬季オリンピック開幕
		3.5	長野パラリンピック開幕
		3.20	仙台市情報・産業プラザ開館
		6.10	サッカーW杯フランス大会開幕、日本初出場

年表

年（西暦）		仙台市水道局	
元号	和暦・西暦	月日	事 項
平成	11年（1999）	6.7	青下第一ダムなど12の水道施設が登録有形文化財に登録
		9.10	宮床ダム取水開始（福岡浄水場、1日最大10,000m <sup>3</sup> ）
		11.1	5階建てまで直結給水、10階建てまで直結増圧給水開始
		11.9	名取川水利権（湯元浄水場分）変更許可（富田浄水場5,220m <sup>3</sup> の給水能力増加）
		12.31	コンピュータ西暦2000年問題対策本部設置（平成12.1.1 解散）
	12年（2000）	3.－	第五次拡張事業竣工
		3.30	仙台市水道事業基本計画策定（平成12年度～平成21年度）
		4.1	組織変更 2部17課51係
		4.1	財団法人仙台市水道技術振興センターを財団法人仙台市水道サービス公社に統合
		8.17	第五次拡張事業完成記念式典挙行
		12.13	寒波による水道管の凍結・破損（～2.25までに修繕件数6,322件）
		12.28	大倉地区簡易水道事業廃止許可
	13年（2001）	2.－	引越し繁忙期休日受付開始
2.16		仙台市水道事業変更認可（簡易水道の統合等）	
3.31		大倉地区簡易水道事業廃止	
3.31		秋保・作並地区簡易水道事業廃止	
4.1		大倉地区簡易水道事業、秋保・作並地区簡易水道事業を水道事業と統合して、仙台市水道事業として一元化	
4.1		仙南・仙塩広域水道用水供給料金改定（増額改定）	
4.19		定義浄水場休止	
8.9		仙台市水道事業変更認可（野尻浄水場、滝原浄水場の浄水方法の変更）	
14年（2002）			
15年（2003）	7.23	給水開始80周年記念水道記念館フェア開催（7.27終了）	
	7.26	宮城県北部地震給水応援派遣（河南町・鹿島台町～第四次 7.30終了）	
	7.29	宮城県北部地震復旧応援派遣（河南町 第一次 7.29終了）	
16年（2004）	4.1	検針・計量業務委託開始	
	6.11	中原浄水場・国見浄水場・富田浄水場・茂庭浄水場・熊ヶ根浄水場・福岡浄水場に係る水利権の更新時期を統一（水利権の一元化）	
	6.30	湯元浄水場廃止	
	10.24	新潟県中越地震給水応援派遣（長岡市～第三次 11.3終了）	
	10.26	新潟県中越地震復旧応援派遣（長岡市 第一次 11.2終了）	
	12.1	水道料金のコンビニエンスストアでの収納取扱い開始	
17年（2005）	3.30	仙台市水道事業中期経営計画策定（平成17年度～平成21年度）	
	4.1	鉛給水管解消の助成制度開始	

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事 項	月日	事 項
7.16	地方分権一括法案成立に伴う水道法の一部改正	3.28	仙台文学館開館
		5.11	仙台市の人口100万人を超える
2.23	水道施設の技術的基準を定める省令を公布	5.13	るーぶる仙台運行開始
		6.30	市民活動サポートセンター開館
		3.11	JR仙石線あおば通駅開業
3.27	水質基準に関する省令の一部を改正する省令を公布	1.6	省庁再編、1府12省庁制開始
		1.26	せんだいメディアテーク開館
		2.12	仙台開府400年記念式典開催
		5.12	第1回仙台国際音楽コンクール開催（～6.9）
		9.11	アメリカで同時多発テロ発生
		11.18	ベガルタ仙台がJ1昇格決定
		8.25	光州広域市（韓国）と国際姉妹都市提携
12.1	住民基本台帳ネットワーク本格稼働 東北新幹線八戸駅まで延伸		
7.22	水質基準に関する省令の規定に基づき厚生労働大臣が定める方法を告示	5.26	M7.1の宮城県沖地震発生
		7.26	M6.4の宮城県北部地震発生
		8.27	仙名城跡国史跡指定
		9.25	第1回仙台カップ・国際ユースサッカー大会開催（～9.28）
6.1	厚生労働省が「水道ビジョン」を公表	10.23	M6.8の新潟県中越地震発生
		10.29	プロ野球新球団「東北楽天ゴールデンイーグルス」発足
8.16	M7.2の宮城県沖地震発生	11.3	オウル市（フィンランド）と産業振興協定締結



年表

年（西暦）		仙台市水道局	
元号	和暦	月日	事 項
平成	17年（2005）	12.12	引越し受付業務委託開始
	18年（2006）	4.1	15階建て（200戸）程度まで直結増圧給水開始
		4.1	富田浄水場休止
		4.1	仙南・仙塩広域水道用水供給料金改定（増額改定）
		6.26	国際貢献の一環として海外研究員受入れ開始
		11.28	水道水質検査優良試験所規範（水道G L P）認定取得
	19年（2007）	1.29	水道局コールセンターを開設し、引越し受付業務を一部拡大
		1.29	水道局ホームページに水道の使用開始・廃止受付のインターネット申込ページを開設
		3.28	札幌市水道局と仙台市水道局の合同防災訓練に関する覚書締結
		4.1	新川浄水場休止
	20年（2008）	4.1	「水道メーター検針・計量業務」「水道開栓・閉栓業務」「水道料金等収納業務、給水停止などの未納整理業務」の3業務を包括的に委託
		5.28	第59回全国水道研究発表会開催（於仙台国際センター）（5.30終了）
6.14		岩手・宮城内陸地震災害に伴う給水応援派遣（栗原市・大崎市 6.23終了）	
11.7		仙台市水道事業基本計画（平成22年度～平成31年度）検討委員会設置（平成21.12.4解散）	
21年（2009）	4.1	組織変更 3部15課41係	
	9.8	水利権の一括更新許可（許可期限：平成31.3.31）	
22年（2010）	3.23	東京都水道局と仙台市水道局の合同防災訓練に関する覚書締結	
	3.30	仙台市水道事業基本計画策定（平成22年度～平成31年度）	
	3.30	仙台市水道事業中期経営計画策定（平成22年度～平成26年度）	
	4.1	仙南・仙塩広域水道用水供給料金改定（減額改定）	
	11.28	水道水質検査優良試験所規範（水道G L P）認定更新	
23年（2011）	3.11	東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生（14時46分）災害対策本部設置、最大断水戸数：約23万戸	
	3.24	東日本大震災に伴う水道料金の減免（基本料金1か月分免除等）を決定	
	4.1	給水装置関連業務第三者委託開始	
	4.11	東日本大震災に伴う給水応援派遣（石巻地方広域水道企業団・多賀城市・南三陸町・陸前高田市 7.31終了）	
	5.23	東日本大震災に伴う復旧応援派遣（石巻地方広域水道企業団 7.8終了）	
24年（2012）	6.1	「東日本大震災仙台市水道復旧の記録」発行	
	11.20	新潟市水道局と仙台市水道局の災害相互応援に関する覚書締結	
	12.13	東日本大震災で被災・解体した荒巻配水所旧管理事務所の登録有形文化財の登録を抹消	
25年（2013）	3.22	仙台市水道事業計画変更届出（浄水方法変更）	
	3.31	東日本大震災災害対策本部廃止	
	7.23	山形県内での梅雨前線による豪雨災害に伴う給水応援派遣（上山市・寒河江市 7.27終了）	

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事 項	月日	事 項
		11.5	プロバスケットチーム「仙台89ERS」初ゲーム
		1.20	台南市（台湾）と交流促進協定締結
		3.23	荒川静香選手金メダルおめでとう記念式開催
		10.10	仙台ナンバー交付開始
		11.1	仙台市地下鉄東西線本体工事着工
		3.18	仙台空港アクセス鉄道開業
		7.16	M6.8の新潟県中越沖地震発生
4.1	水質基準に関する省令を改正施行（塩素酸の水質基準を0.6mg/ℓ以下に設定）	6.14	M7.2の岩手・宮城内陸地震発生
		7.1	仙台市天文台が錦ヶ丘に移転
		10.1	仙台・宮城ディスティネーションキャンペーン開幕
4.1	水質基準に関する省令を改正施行（有機物（全有機炭素（TOC）の量）の水質基準を3mg/ℓ以下に強化）	4.1	仙台青陵中等教育学校、仙台大志高等学校創立
		4.1	仙台商業高等学校と仙台女子商業高等学校が統合し、仙台商業高等学校となる
7.ー	厚生労働省が「水道事業におけるアセットマネジメント（資産管理）に関する手引き」を作成・公表	6.11	新型インフルエンザ流行、世界保健機構（WHO）がパンデミックと判定
4.1	水質基準に関する省令を改正施行（カドミウム及びその化合物に係る水質基準を0.003mg/ℓ以下に強化）	9.25	日本APEC第3回高級実務者会合等を開催（～9.26）
		12.4	東北新幹線新青森駅まで延伸
4.1	水質基準に関する省令を改正施行（トリクロロエチレンに係る水質基準を0.01mg/ℓ以下に強化）	3.11	M9.0の東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）発生
		7.16	東北六魂祭開催（～7.17）
		11.30	仙台市震災復興計画策定
		2.10	復興庁発足
		5.22	東京スカイツリー開業
		10.13	ねんりんピック宮城・仙台2012開催
3.29	厚生労働省が「新水道ビジョン」を策定	6.19	国宝「慶長遣欧使節関係資料」がユネスコ記憶遺産登録
		7.17	平成25年7月山形豪雨により被害発生
		10.16	伊豆大島を中心に台風第26号により被害発生



年表

年(西暦)		仙台市水道局	
元号	和暦・西暦	月日	事項
平成	25年(2013)	7-	給水開始90周年記念イベント開催(～10月)
	26年(2014)	4.1	消費税率の変更等に伴う水道料金等の改定(税率5%→8%)
		4.1	仙台市水道修繕受付センター開設
		4.1	地元密着型水道修繕登録店制度運用開始
		4.1	水道水ボトルドウォーター「ごくり◇さらり せんだい」事業開始
		11.28	水道水質検査優良試験所規範(水道GLP)認定更新
	27年(2015)	3.14	第3回国連防災世界会議が仙台市で開催、パブリック・フォーラムに参加(宮城県管工業協同組合と屋外展示イベント共催(3.14～3.15開催)、シンポジウム開催(3.18))
		3.30	仙台市水道事業中期経営計画策定(平成27年度～平成31年度)
		4.1	水道局職員の被災地(気仙沼市、石巻地方広域水道企業団)への派遣開始
		4.1	仙南・仙塩広域水道用水供給料金改定(減額改定)
		4.1	青下第一ダムのダムカード配布開始
		10.14	第9回日米台水道地震対策ワークショップ開催(仙台市水道局本庁舎)(10.16終了)
28年(2016)	4.25	熊本地震に伴う復旧応援派遣(熊本市～第二次5.13終了)	
	7.31	富田浄水場廃止	
	9.6	平成28年台風第10号災害に伴う給水応援派遣(岩手県野田村～第二次9.13終了)	
	11.17	堺市上下水道局と仙台市水道局の合同水道防災訓練に関する覚書締結	
	11.29	東京都と仙台市との情報連絡調整担当水道事業者としての活動に関する覚書(現東京都水道局と仙台市水道局との現地調整隊としての活動に関する覚書)締結	
29年(2017)	4.1	仙台市水道記念館リニューアル完了	
	10.1	クレジットカード決済による水道料金の支払いサービスを開始	
	10.1	水道の基本料金に日割計算を導入	
30年(2018)	1.29	新潟市寒波に伴う給水応援派遣(2.2終了)	
	3.9	多賀城市配水管漏水に伴う給水応援派遣(3.9終了)	
	7.14	平成30年7月豪雨に伴う復旧応援派遣(愛媛県宇和島市～第四次8.8終了)	
	11.28	水道水質検査優良試験所規範(水道GLP)認定更新	
	11.30	仙台市水道事業基本計画(令和2年度～令和11年度)検討委員会設置(～令和2.3.31)	
31年(2019)	1.25	札幌市・仙台市災害時相互応援強化に係る人事交流に関する協定締結	
	4.1	札幌市との人事交流(職員の相互派遣)開始	
令和	元年(2019)	10.1	消費税率の変更等に伴う水道料金等の改定(税率8%→10%)
		10.14	令和元年東日本台風に伴う給水応援派遣(丸森町・いわき市・相馬地方広域水道企業団11.2終了)
		11.5	札幌市と仙台市との情報連絡調整担当水道事業者としての活動に関する覚書(現札幌市水道局と仙台市水道局との現地調整隊としての活動に関する覚書)締結
	2年(2020)	1.15	おふろ部(水道水の有効利用等促進事業)の実施に関する協定を(株)ノーリツ及び東北福祉大学と締結

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事項	月日	事項
		11.24	東北楽天ゴールデンイーグルス日本一記念バレード開催
4.1	給水装置の構造及び材質の基準に関する省令が改正施行	4.26	羽生結弦選手金メダル記念バレード開催
		4.1	消費税率が5%から8%に引き上げ
4.1	水質基準に関する省令を改正施行(亜硝酸態窒素(基準値0.04mg/ℓ)を追加)	7.21	仙台市泉岳自然ふれあい館開館
		8.19	仙台子ども体験プラザElem開館
		8.20	広島県を中心に平成26年8月豪雨により被害発生
		11.1	仙台市立病院があすと長町に移転
4.1	水質基準に関する省令を改正施行(ジクロロ酢酸、トリクロロ酢酸を各0.03mg/ℓ以下に強化)	3.14	第3回国連防災世界会議が仙台で開催(～3.18)
		4.1	ジャパン・プロフェッショナル・バスケットボールリーグ設立
10.1	厚生労働省健康局水道課が医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課になる	9.9	平成27年9月関東・東北豪雨により被害発生
		10.23	マイナンバー(個人番号)の通知開始
		12.6	仙台市地下鉄東西線開業
1.26	総務省が全国都道府県・指定都市の公営企業に「経営戦略」策定を要請	2.13	せんだい3.11メモリアル交流館開館
		3.26	北海道新幹線新青森駅～新函館北斗駅間開通
4.1	水道法施行令が改正施行(厚生労働省が水道の認可権限を都道府県に移譲)	4.14	M6.5、M7.3の熊本地震発生、史上初めて震度7を2度観測
		5.20	G7仙台財務大臣・中央銀行総裁会議開催
		8.30	北海道・東北地方で台風第10号により被害発生
		10.26	国勢調査発表で日本の人口が初の減少
7.11	厚生労働省医薬・生活衛生局生活衛生・食品安全部水道課が医薬・生活衛生局水道課となる	4.30	震災遺構、仙台市立荒浜小学校公開
		6.10	東北絆まつり開催(～6.11)
		7.5	平成29年7月九州北部豪雨により被害発生
		11.25	世界防災フォーラム/防災ダボス会議2017開催
12.12	水道法一部改正(広域連携の推進、官民連携の推進、指定給水装置工事事業者制度の改善)	4.22	羽生結弦選手金メダル記念バレード開催
		6.28	西日本を中心に平成30年7月豪雨により被害発生
		7.8	海岸公園全面開園
		9.6	M6.7の北海道胆振(いぶり)東部地震発生
		4.1	市制施行130周年、政令指定都市移行30周年
5.29	水道施設の技術的基準を定める省令を一部改正	5.1	平成から令和に改元
		10.1	消費税率が8%から10%に引き上げ
		10.12	関東・東北地方を中心に令和元年東日本台風により被害発生
		11.9	世界防災フォーラム/防災ダボス会議2019開催
		11.30	東部復興道路(かさ上げ道路)開通
3.25	水質基準に関する省令を改正	1.31	イギリスがヨーロッパ連合(EU)から離脱

年表

年（西暦）		仙台市水道局	
元号	和暦・西暦	月日	事 項
令和	2年（2020）	1.16	青下の杜プロジェクト（官民連携による水源かん養林保全育成事業）の実施に関する協定を協力企業9社と締結
		3.31	川崎町と仙台市の水道事業の連携に関する協定締結
		3.31	仙台市水道事業基本計画策定（令和2年度～令和11年度）
		3.31	仙台市水道事業中期経営計画策定（令和2年度～令和6年度）
		4.1	仙南・仙塩広域水道用水供給料金改定（減額改定）
		5.19	新型コロナウイルス感染症に伴う水道料金の減免（基本料金2か月分免除等）を決定
		11.12	堺市上下水道局と仙台市水道局の災害時の応援活動に関する覚書締結
	3年（2021）	2.14	福島県沖地震に伴う給水応援派遣（山元町 2.25終了）
		2.18	緊急断水に伴う復旧応援派遣（塩竈市 2.19終了）
		3.23	塩竈市と共同浄水場整備に向けた計画策定に関する覚書締結
		10.28	青下の杜プロジェクトの実施に関する協定を協力企業2社と締結
4年（2022）	11.1	令和3年度日本水道協会全国会議開催（新型コロナウイルス感染症の影響で仙台参集開催をオンライン開催に変更）（令和4.3.31終了）	
	11.30	水道水ボトルウォーター「ごくり◇さらり せんだい」事業終了	
4年（2022）	3.18	福島県沖地震に伴う給水応援派遣（美里町・涌谷町・角田市・山元町 3.20終了）	
	3-	仙台市水道局コミュニケーション戦略策定	

国内水道		仙台市、国内外の出来事	
月日	事 項	月日	事 項
		3.11	新型コロナウイルス感染症、世界保健機構（WHO）がパンデミックと判定
		7.4	九州地方で令和2年7月豪雨により被害発生
		2.13	M7.3の福島県沖地震発生
		7.23	東京オリンピックが開幕
		8.24	東京パラリンピックが開幕
		3.16	M7.4の福島県沖地震発生